

**第54号**  
 発行  
 2007年  
 6月15日  
 本郷ふじやま公園  
 運営委員会

ホームページ [http://www.k5.dion.ne.jp/~h fuji p](http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p)

==== 7月15日子ども工作の日 ====

## 種まきから始まる虫かご作り

もうじき夏休み。夏休みを楽しみにしている子どもたちにとって、虫取りで捕まえた虫を入れておく虫かごは大切な道具です。

公園では7月の子ども工作の日に麦わら（藁）で虫かごを作ります。

● この麦わら、じつは公園の畑で前の年の11月に麦の種を蒔いて、雨の日風の日を気に掛けながら何ヶ月も大切に育てた麦から作ります。刈り取った麦は干して、茎の部分を適当な長さに切り取って水につけて柔らかくしてようやく麦わらの出来上がりです。



種まき(前の年の11月)



大きく育った麦(今年5月)



刈り取った麦を軒下につるして干します。今年6月上旬

子ども工作の日  
虫かごの完成!

40cmほどに切りとります



一本一本使う長さに裁断して袴を取ります。今年6月下旬



## 平成19年5月の来園者数と団体・グループ来園状況

来園者数 2,750名

(来園日)	(団体名)	(人数・内数)
5月9日(水)	清心幼稚園	99名
5月15日(火)	本郷小学校3年生	114名
5月18日(金)	戸塚ふたば幼稚園	300名
5月22日(火)	本郷小学校1・2年生	189名
5月22日(火)	横浜俳話会	28名
5月22日(火)	中野幼稚園	150名
5月24日(木)	中野幼稚園	226名
5月26日(土)	年金者組合栄支部	7名

**桜井小学校からスポーツフェスティバルに招かれる**  
 ふじやま公園の東側に位置する桜井小学校から五月二十六日(土)のスポーツフェスティバルに招待されました。手作りの素敵な招待状をいただき、勿論参加しました。桜井小学校とは普段三年生の社会科学習や五年生の炭焼き体験教室でお付き合いがあります。

## 第19回古民家歴史部会歴史探訪 5月10日(木)

横浜高島屋正面玄関前→高島山公園・三宝寺→台の一里塚→大網金比羅神社→台町の茶屋→  
神奈川台関門跡→上台橋→浅間社→追分→横浜道岐路→(昼食:角屋)→横浜道→横浜駅西口。

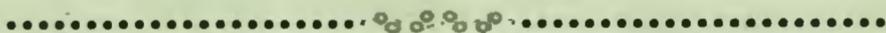


横浜駅周辺駅が一望できる高島山公園(周辺一帯の海を埋め立てた高島嘉右衛門の偉業を讃える“望欣台(ボウキンダイ)の碑”がある。)は、前回既に登っているの、その下の「台の一里塚」からスタートしました。参加者は12名でした。

大網金比羅神社、台町の茶屋から、神奈川台の関門跡へは、緩やかな下りで、昔は神奈川湊を見下ろす景勝の地だったそうです。

上台橋を経て浅間社(現浅間神社)へ至る旧東海道は、かつては、潮騒の聞こえる海辺の道だったようですが、今は高速道と一般道が交錯する交通の要衝で、全く昔の面影はありませんでした。

浅間下では、創業明治40年という老舗の蕎麦屋「角屋(カドヤ)」さんで、全員でお昼をいただいた後、開国の頃、突貫工事で開通させたといわれる「横浜道」を経て、横浜駅西口へ帰って来ました。



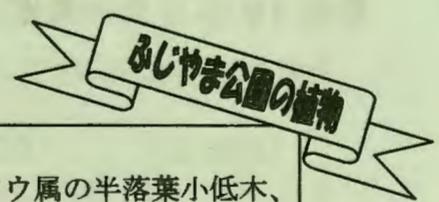
## 古民家Q&A 引違い戸

Q: 障子や襖などの引違い戸は右手前になっていますがその理由は?

A: 引違い戸は引き戸の一つで、2枚の戸を左右のいずれかに引いて開閉する形式の戸です。引違い戸は戸を開けた際に2枚の戸は、重なった状態になり、戸の開閉に場所をとらず簡単に取外せます。引違い戸は日本独特のもので、障子、窓、襖など、様々なところに一般的に用いられています。

引違い戸を構成する2枚の戸の配置は、必ず右戸が手前で左戸が奥にあります。鎌倉時代の絵巻物(春日権現霊験記)においても右手前に描かれており、日本の伝統的な建築では常識となっています。右手前が常識である理由ははっきりしません。大部分の人が右利きであることが挙げられています。また古くは一般的に左上位であり、左側に高位の人が位置するためであることも指摘されています。

旧小岩井家の障子・襖・板戸は上記のように開閉しています。



### 金糸梅 (キンシバイ)



(金糸梅 ヒペリカム)とは、オトギリソウ科オトギリソウ属の半落葉小低木、中国原産で、江戸時代の宝暦10年(1760年)に渡来したといわれる。庭木や地覆い用植え込みとして全国各地に植えられている。株立ち上に枝が出て、ゆるやかに枝垂れる。葉は対生で長い楕円形。暖かい地方では落葉しないことが多い。初夏、枝先に濃い黄色で、五弁の花を次から次に咲かせる。ピヨウヤナギのようにオシベは長くない。日向でも半日陰でも丈夫に育つ。株分けですぐ増やせる。あまり剪定の必要はないが、小さくしたいときは強く剪定しても耐える。冬が適期。(ウィキペディアより)

## 教室訪問 造形遊びの巻(5月15日)

造形遊びってどんなことをするのだろうと興味津々で訪問しました。

今回は「里山で作った炭を飾ろう」という副題があるように、材料はふじやま公園で作ったものが主に使われて飾り物を作りました。



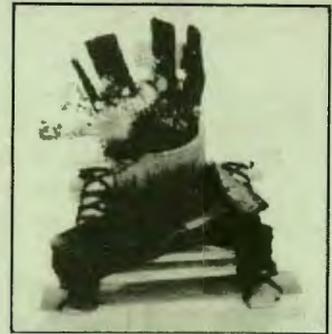
生徒さんには幅2cm 長さ15cm くらいの竹を組み合わせて作ってある炭を置く台、ふじやま公園で焼いた竹炭、柔らかくて目の粗い網とプリザードフラワーが用意されていました。

「それぞれで創造力を働かせて、自由に作ることができます。」と

いう先生の説明で、男性の生徒さんは「我が家のテーブルの真ん中にある作りつけの囲炉裏の中に、灰の代わりに入れてみようかな」と材料を色々に組み合わせては研究していました。

女性の生徒さんは竹炭を自分で鋸で切って、側にあったパークラフトの紐も使って網で包んで楽しいすてきな飾り物を作りました。

そして「竹の筒にビールを注ぐとクリーミーになって、泡がいつまでも消えませんが」という先生の話に教室中が盛り上がりました。作品は一回作った後も、アイデアでまた作り変えても良いそうです。



### 『いろり辺雑記』から(原文のまま)

私は、昔の家にきて、花炭という炭があったり、たたみの部屋がいくつもあって、ビックリしました。妹も、友だちも、私も、きょうみを、もって、学習の心が、ワクワクしたと思います。私が、いち番きょうみをもったのが、昔のかまどや花炭でした。またきたいと思います。

### 平成19年7月度公園活動予定

#### ●事務局

事務局会議 6日(金)

#### ●農芸部会

定例部会 16日(月)

定例作業 2日(月)・5日(木)

9日(月)・12日(木)

19日(木)・23日(月)

26日(木)・30日(月)

#### ●里山部会

定例作業 29日(日)・夏の植物観察  
会(公募)

21日(土)・22日(日)

竹林整備

#### ●古民家歴史部会

定例部会 8日(日)

歴史探訪(第21回) 5日(木)

#### ●工作棟部会

定例部会 25日(水)

子ども工作準備 週2, 3日

#### ●クリーンアップ 3日(火)・17日(火)

#### ●囲炉裏守

囲炉裏焚き 1日(日)・12日(木)

15日(日)

#### ●ふじやまだより編集会議 7月7日(土)

印刷・仕分け 12日(木)

#### ●ホームページ制作打合せ 7月1日(日)

## 楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください。お待ちしております。

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	7月15日(日) 10時～12時 13時～15時	麦藁で虫かごを作り楽しみましょ う。	無料	受付時間 10時～11時 13時～14時
夏の植物観察会	7月29日(日) 10時～12時	夏季の花の咲く植物と親しみまし ょう。	無料	7月25日(水)
竹トンボ作り	8月5日(日) 10時～15時	究極のスーパー竹トンボを目指し て。	無料	7月25日(水)
里山の そば打ち塾	8月25日(土) 10時～12時30分	ご夫婦でそば打ちを楽しんでみま しょう。	700円 /一人	8月10日(金)

- (1) 持参品：返信ハガキで連絡します。(2) 定員：12名。応募者多数のときは抽選。  
 (3) 応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号  
 を書いて 応募期限までに本郷ふじやま公園へ

### ★ ★ ★ お知らせ ★ ★ ★

## 竹工作祭り

8月19日(日)10時～14時(入場無料)

ふじやま公園の竹材を使い、竹ぽっくり、ガリガリこま、大根鉄砲、竹とんぼ、竹ケン玉作りなどを計画しております。

大人も子供も楽しく参加できます。

また、縄織機の体験や幼児には魚釣ゲームなどもあります。

昼食時(11:30～12:30)には流しソーメンの販売も致します。

(有料：食券購入200円)



- ・開館時間： 9：00～17：00 ・入館料：無料
- ・休館日： 7月4日(水)
- ・クリーンアップ作業：7月3日(火)、17日(火)10時～11時

### ◆本郷ふじやま公園運営委員会

〒247-0009 栄区鍛冶ヶ谷1-20 TEL:896-0590 FAX:896-0593

「ふじやまだより」に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。